



～笑顔あふれる学校を目指して～ 大会に臨む心構え



支部中体連総合大会が迫ってきました！生徒の皆さん、とりわけ3年生はこれまで、雨の日も雪の日も、そして暑い日も部活動に励んできました。昨年度の中体連新人総合大会を終えてから、チームや個人の長所を伸ばすことはもちろん、弱点を克服することに必死になってきたことでしょう。

大会を控えて、皆さんの心は揺れているかもしれません。「ここまで努力してきたのだから勝ちたい」「チームの仲間や保護者の皆さんが支えてきてくれたのだから、恩返しをしたい」等々。しかしながら、あまりに考えすぎてしまい、かえって緊張したり凡ミスをしたりすることもあります。この紙面では、これまで国内外ですばらしい活躍をしてきたアスリートたちが残した名言を幾つか紹介します。大会を控えた皆さんの心に響くものがあれば幸いです。

信じて投げて打たれるのはいい。信じて投げて打たれたのなら、それは結果。一番いけないのは、やる前から打たれたらどうしようと考えること。
《落合博満/野球》

私が時間を有効に使いたいと考えるのは、「一分の大切さ」を身をもって知っているからかもしれません。テニスでは一分あれば試合の流れが変わります。負けている試合であっても逆転が可能なのです。ましてや、アスリートとしての私に残された時間は決して多くはないのですから、より一層時間を有意義に使いたいです。
《クルム伊達公子/テニス》

10本連続でシュートを外しても僕はためらわない。次の1本が成功すれば、それは100本連続で成功する最初の1本目かもしれないだろう。
《マイケル・ジョーダン/バスケットボール》

弱い負荷しか体験したことのない人間は、強い負荷に耐えられない。「負」に対する免疫を作るためにはどん底を恐れてはいけない。いやむしろどん底をともにすべきだ。
《室伏広治/ハンマー投げ》

私が使う「5つのP」(Perfect Preparation Prevents Poor Performance)(完璧な準備は雑な仕事を防いでくれる)は私の考えを簡潔に示してくれます。
《ボビー・バレンタイン/野球》

忘れてはいけないのは、努力したから必ず勝てるとは限らない。それが大前提。でも、勝った選手というのは、絶対に努力しているんです。
《太田雄貴/フェンシング》

ゴールを100%外すのは、打たなかったシュートだけだ。
《ウェイン・グレッツキー/アイスホッケー》

叶わなそうなものを、叶えるのが夢。自分の限界を自分で決めてしまったら、その先はない。
《中田久美/バレーボール》



安達中生徒が力を結集し、
大会では大きな花を咲かせられますように！！

熱中症に注意！

先週末には北海道でも日中の最高気温が39度まで上がりました。過日行われたPTA奉仕作業の折にもお話ししたように、熱中症、急な豪雨と落雷、交通事故、不審者、クマ等、心配なことがたくさんあります。安全と健康が第一です。これからも十分気を付けてください。保護者の皆様にはお子様の安全な教育活動に今後ともご協力願います。

教育実習スタート！！

5月27日（月）に教育実習が始まりました。実習に臨む大学生は、本校卒業生である大内みのりさん、武藤杏奈さんの2名です。教科は2名とも国語です。楽しく充実した実習になるよう、生徒の皆さんは実習生に積極的に関わってほしいと思います。また、4月後半より、福島大学教職大学院より吉田良平先生が本校での現場実習を行っております。教科は社会です。これで、現場実習は、昨年度から実習を行っている鹿野捷人先生と吉田先生の2名となりました。

県北陸上がんばりました

5月14日（火）15日（水）に県北地区中体連陸上競技大会があづま陸上競技場で行われました。3種目3人（◎印）が県大会への出場権を得ました。おめでとうございます。

- ◎1年男子1500m 第4位 安齋 光希
- ◎1年女子1500m 第6位 鳴海 春佳
- ◎共通男子800m 第5位 安齋 溪吾
- 1・2年女子4×100mR
第8位 佐藤はるな、本田 真白、菅野 怜未、高野 彩絵（敬称略）

美しい花いっぱい为学校

5月24日（金）、安達ライオンズクラブ（代表：佐藤運喜会長）の皆様がマリーゴールド等の花苗を本校に寄贈されました。今年も、中庭の噴水付近を中心に、学校を花一杯にしたいと思います。

（写真上）ロータリークラブの皆様と生徒たち

【奉仕作業時のスナップ】



本多先生、剪定に挑戦



生徒も頑張りました



東側法面がさっぱり！



お父さん達パワフル！

< 6月の行事予定 >

日	曜	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	衣替え、安全点検、学校へ行こう週間（～11）
4	火	歯と口の健康週間（～10）
5	水	安達支部中体連総合大会1日目（弁当）
6	木	安達支部中体連総合大会2日目（弁当）
7	金	安達支部中体連総合大会予備日（弁当）
8	土	
9	日	
10	月	アルミ缶回収（～14日）
11	火	特別支援学級生徒交歓会
12	水	部活動休止
13	木	
14	金	教育実習最終日
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	県北地区中体連総合大会1日目（弁当）
19	水	県北地区中体連総合大会2日目（弁当）
20	木	部活動休止
21	金	全校集会④（表彰報告）
22	土	
23	日	アメリロ消毒15:00～※部活動休止
24	月	防犯教室、職員会議 ※部活動休止
25	火	※部活動休止
26	水	期末テスト、専門委員会③
27	木	薬物乱用防止教室（3学年）
28	金	学区内幼保小中連携協議会※部活動休止
29	土	
30	日	

PTA第1回奉仕作業

5月19日（日）、多数の保護者の皆様に参加していただき早朝よりPTA奉仕作業が行われました。

作業は全校生及び全保護者参加により行われ、校地内の除草作業など、日頃子どもたちではできない所を保護者の皆様の力を借りて行いました。ご協力ありがとうございました。次回は8月25日（日曜日）に実施を予定しております。次回もご協力を宜しくお願いいたします。

支部中体連総合大会が迫ってきました。

生徒の皆さん、とりわけ3年生はこれまで、雨の日も雪の日も、そして暑い日も部活動に励んできました。昨年度の中体連新人総合大会を終えてから、チームや個人の長所を伸ばすことはもちろん、弱点を克服することに必死になってきたことでしょう。

大会を控えて、皆さんの心は揺れているかもしれません。「ここまで努力してきたのだから勝ちたい」「チームの仲間や保護者の皆さんが支えてきてくれたのだから、恩返しをしたい」等々。しかしながら、あまりに考えすぎてしまい、かえって緊張したり凡ミスをしたりすることもあります。この紙面では、これまで国内外ですばらしい活躍をしてきたアスリートたちが残した名言を幾つか紹介します。大会を控えた皆さんの心に響くものがあれば幸いです。

信じて投げて打たれるのはいい。信じて投げて打たれたのなら、それは結果。一番いけないのは、やる前から打たれたらどうしようと考えてること。

《落合博満/野球》

私が時間を有効に使いたいと考えるのは、「一分の大切さ」を身をもって知っているからかもしれません。テニスでは一分あれば試合の流れが変わります。負けている試合であっても逆転が可能なのです。ましてや、アスリートとしての私に残された時間は決して多くはないのですから、より一層時間を有意義に使いたいです。

《クルム伊達公子/テニス》

10本連続でシュートを外しても僕はためらわない。次の1本が成功すれば、それは100本連続で成功する最初の1本目かもしれないだろう。

《マイケル・ジョーダン/バスケットボール》

弱い負荷しか体験したことのない人間は、強い負荷に耐えられない。「負」に対する免疫を作るためにはどん底を恐れてはいけない。いやむしろどん底をとものにすべきだ。

《室伏広治/ハンマー投げ》

私が使う「5つのP」(Perfect Preparation Prevents Poor Performance)(完璧な準備は雑な仕事を防いでくれる)は私の考えを簡潔に示してくれます。

《ボビー・バレンタイン/野球》

忘れてはいけないのは、努力したから必ず勝てるとは限らない。それが大前提。でも、勝った選手というのは、絶対に努力しているんです。

《太田雄貴/フェンシング》

な花が咲く。 《高橋尚子/マラソン》

何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大き